

大風 便り

第109号

大風会館HP <http://oodako.net/>

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 平成27年6月29日発行

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3-5

TEL:0748-23-0081 FAX:0748-23-1860

IP:050-5801-1140

開館時間:9時~17時 休館日:毎週水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎週第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

＝2015年東近江大風まつり＝

みなさまに多大のご心配そしてご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

5月31日(日)、「2015年東近江大風まつり」を東近江市ふれあい運動公園で開催され、100畳敷大風が落下し、8人の方が死傷される事故が起きました。

多くの皆さまに、多大なるご迷惑やご心配をおかけしたことに改めましてここに深くお詫び申し上げます。

世界風博物館東近江大風会館

夏休み特別企画 「日永うちわと懐かしのうちわ」

協力 株式会社稲藤・大橋博司氏

開催期間 平成27年7月16日(木)～8月4日(火) 期間中の休館日 毎週水曜日、7月21日

開館時間 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

入館料 一般 300円 小中学生 150円

夏休み特別企画



お伊勢詣りの土産物として
親しまれた日永うちわ
江戸時代より続く
三百年の伝統と技を
おたのしみください

昭和に活躍したスターや
アニメキャラクターなど
懐かしさを感じるうちわを
たくさん展示します

平成27年
7月16日(木)
8月4日(火)
世界風博物館
東近江大風会館

開館時間 午前9時～午後5時
(但し入館は午後4時30分まで)

入館料 一般/300円 小・中学生/150円
(※20名以上は団体は50%引き)

休館期間中の休館日 毎週水曜日、7月21日(火)
〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3-5
TEL.0748-23-0081
IP電話:050-5801-1140
協力/株式会社 稲藤・大橋博司氏

体験教室 **うちわを作ろう**
7月26日(日) 締切 7月20日(月)
13時30分～15時30分(受付13時～)
体験料 500円 参加人数 30人
対象年齢 4歳以上 ※小学4年生以下は保護者同伴

かんぱて
電化アクション!

<http://oodako.net/>

日永うちわの歴史



江戸時代、東海道日水の宿では、「日永うちわ」「永餅」「日永足袋」の三つの土産物屋が軒を並べて賑わい、なかでも、「日永うちわ」は農家の人々が農閑期に作り始めたもので、お伊勢詣りの土産物の一つとして、好評を得ていました。三重県での郷土史家安岡新蔵先生が、天明年間から県内の至る所を調査して回り、天保4年(1833年)に完成した「勢陽五

鈴道巻」という本の日永村の項を見ると、「民家にうちわを多く造りて、旅客に販本店あり。名産とし日永うちわと称す」とあります。天明元年は1781年ですから、今から二百三十年前には、盛んに製造して街道を上下する人々に売っていたようです。それ以前の元禄の頃にも売られていたようで、三百年以上の歴史があるといわれています。

お伊勢詣りの途中、絵柄を注文して、糊り道に再び立ち寄り、出来上がった日永うちわを全国に持ち帰ったそうです。街道には十数軒の製造業者があり、全国的に有名でしたが、明治中期の関西線の開通と時世の流れで旅人の通行が減り、現在では「扇巻」一軒となっています。



一本の新しい竹をそのまま使っている日永うちわ。手にもよくなじみ、背つきひんやりと心地よい感触



日永うちわを制作する、株式会社 稲藤の稲垣さん

世界風博物館
東近江大風会館

<http://oodako.net/>
<http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

開館時間 午前9時～午後5時
(但し入館は午後4時30分まで)

入館料 一般/300円 小・中学生/150円
(※20名以上は団体は50%引き)

休館日 毎週水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3-5
TEL.0748-23-0081
IP電話:050-5801-1140



名神高速(八日市IC)から車で約7分
近江鉄道(八日市駅)から徒歩約15分
もしもはらこことして「大風会館」下車

＝夏休み特別企画「日永うちわと懐かしのうちわ」開催について＝
三重県四日市市「伝統工芸日永うちわ」を展示

協力 株式会社稲藤



日永うちわを製作する稲垣さん



こんにちは。6月は梅雨の時期ということでジメジメとして蒸し暑いですが、これから夏本番になるとさらに暑くなりますよね。そんな暑さを吹き飛ばす日本独特の道具・うちわの企画展示「日永うちわと懐かしのうちわ」展のご紹介です。皆さん、日永うちわをご存知ですか？日永うちわは今から約300年前、三重県の四日市市日永が発祥とされており、農家の人々が農閑期に作り始めたもので、お伊勢参りのお土産の一つとして好評だったそうです。このうちわは骨の数が64本と多く、弾力に富み、あおぐとしなやかで風が柔らかいことが特徴です。絵柄も美人画や浮世絵のものが多く、鮮やかなため、床の間の装飾用としても愛用されています。ですが、時代の流れで交通の便が良くなってきたこともあって、今製造されているのは株式会社稲藤さんのみとなっています。

見どころ：東海道五十三次の全55本すべてのうちわを展示します。



伊勢型紙のうちわ

東海道五十三次のうちわ

友禅のうちわ

懐かしのうちわを展示

協力 大橋博司氏

昭和に活躍したスターやアニメキャラクターなど懐かしさを感じるうちわをたくさん展示！！



京都府八幡市のうちわ収集家の大橋博司さんの協力により「日永うちわ」とあわせて、「昔懐かしいうちわ」の展示を行います。懐かしいうちわは、昭和30年代から40年代の名優さんのうちわや、子どもに愛されたキャラクターのうちわ、子ども向けの仕掛けうちわがあります。また、今では少なくなった庶民に愛用されていた竹のうちわも展示します。時代を感じさせてくれる素敵な絵柄のうちわをたくさん展示しますので、ぜひご覧ください。



展示するうちわ

＝「うちわを作ろう」体験教室開催＝

体験
教室

うちわを作ろう

7月26日(日)

締切
7月20日(月)

13時30分～15時30分(受付13時～)

体験料 500円

募集人数 30人

対象年齢 4歳以上

※小学4年生以下は保護者同伴



↑体験するうちわ

うちわの展示会に合わせて、うちわ作りの体験教室を開催します。今年は世界にひとつのオリジナルうちわを作って暑い夏を乗り切りませんか？皆さまのご参加お待ちしております。事前電話申し込み：0748-23-0081 定員になり次第締め切ります。

＝夏休み親子凧作り教室＝

～カブトムシの凧を作ろう～



今年も、夏の親子凧作りとしてカブトムシの凧作り教室下記のとおり開催します。縦1mほどのカブトの形に切り取った紙に、自分の好きな色を塗り、親子で骨組みをして糸をつけると完成します。25組の親子で、色んなカブトムシを作りませんか？

【開催日】平成27年8月22日(土)

9時00分から12時00分

【募集組数】25組の親子

【参加料】500円(材料費含む)

【製作凧】

大きさ縦：1m程のカブトムシの凧を作ります。

【対象】3歳以上(小学生以下は保護者同伴)

【締切】定員になり次第

【申し込み及び問い合わせ】

電話事前申し込み

東近江大凧会館

電話 0748-23-0081

ひとつきひとつとこ

一月一凧

鳥居



今号から揚げられた大凧の歴史を見ていきたいと思えます。東近江大凧の起源ははっきりとはしていませんが、江戸時代の中ごろに男子出生を祝って端午の節句に凧を揚げたと言われていました。それでは100畳の大凧の始まりは？1841年(天保12年)に縦7間、横7間の大凧の記録があり、この大凧が初めといわれています。凧柄は、上部に「雲」

を描き、下部には「龍」の文字が書かれており、九紋龍は当時の大凧力士の名であったようです。その後、1845年(弘化2年)に「国のかたまり」という120畳敷大凧が揚げられていますが、どちらも現在のところ、大凧飛揚図などはなく詳細不明となっています。1845年(弘化2年)には、当時の庄屋は、幼勘平という子どもらの飛揚する凧以外は揚げることを禁止し、有志者がおもしろ半分には鯉形の100畳の大凧を作り飛揚したと記録が残っています。大凧の絵柄の特徴で「判じもん」を備えた大凧かどうかは分かっていません。

＝2015年7月の予定＝

- 3日(金)まで 船岡中学校職場体験2名
- 3日(金) 能登川南小学校3年生見学
- 8日(水) 滋賀県博物館協議会総会
- 16日(木) 夏休み特別企画「日永うちわと懐かしのうちわ」
8月4日(火)まで
- 19日(日) 家族ふれあいサンデー
- 26日(日) うちわを作ろう 体験教室